



エコマーク表示に関するイメージ等調査結果(概要)

公益財団法人日本環境協会
エコマーク事務局

概要および目的

消費者約 1,000 名に対して、環境配慮行動に対する意識、ならびにエコマークの認知度/理解度およびエコマークロゴ表示へのイメージ等を調査した。

調査結果は、エコマーク事業の広報宣伝活動、商品およびサービスにおけるエコマークロゴ表示の活用促進等、エコマーク認定取得企業・団体と連携した取組を進めるための企画戦略に活用する。

実施方法

- 調査方法:インターネットによるアンケート調査
- 調査年齢:全国の 20 代から 70 代
- モニタ数:1,034 名 (男性:550 名 女性:484 名)
- アンケート実施期間:2021 年 2 月 26 日~28 日

調査結果の表示方法

比率は全て百分率で表し、小数点第 2 位を四捨五入しているため、合計が 100%にならない場合がある。

調査結果の概要

I 環境に配慮した行動に関する設問

普段の生活の中で地球環境のために自分ができることを意識している人の割合は、「いつも実践している」「ときどき実践している」「意識しているが実践していない」をあわせて 81.3%であった(図 1)。また、商品やサービスを購入する際、半数近くの人が、環境への負荷ができるだけ小さいものを選ぶよう行動しているという結果であった(図2)。

Q 普段の生活の中で、地球環境のために自分ができることを意識して実践していますか。

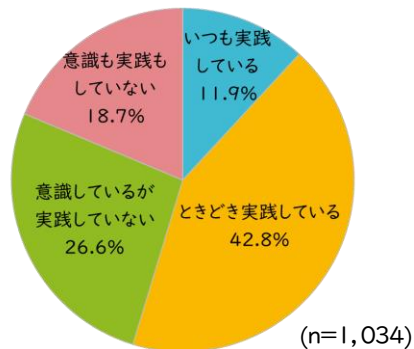


図 1

Q 製品やサービスを購入する際、環境への負荷ができるだけ小さいものを選んでいきますか。

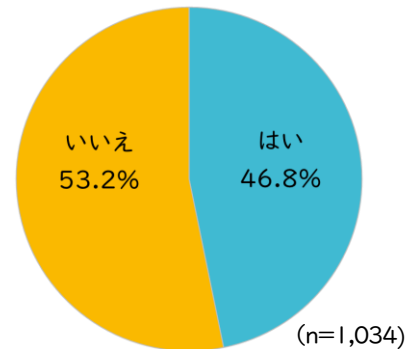


図 2



2 エコマークの認知度に関する設問

エコマークの認知度を調査。また、認知度の高さを比較評価するため、他の環境ラベルの認知度についても同時に調査した。回答者には、10種類の環境ラベルの中から知っている環境ラベルを選択してもらった。その結果、エコマークの認知度は80.6%と高い数値であった(図3)。

Q 環境に配慮した製品につけられるマーク(環境ラベル)のうち、あなたが知っているものを全て選んでください。※複数回答

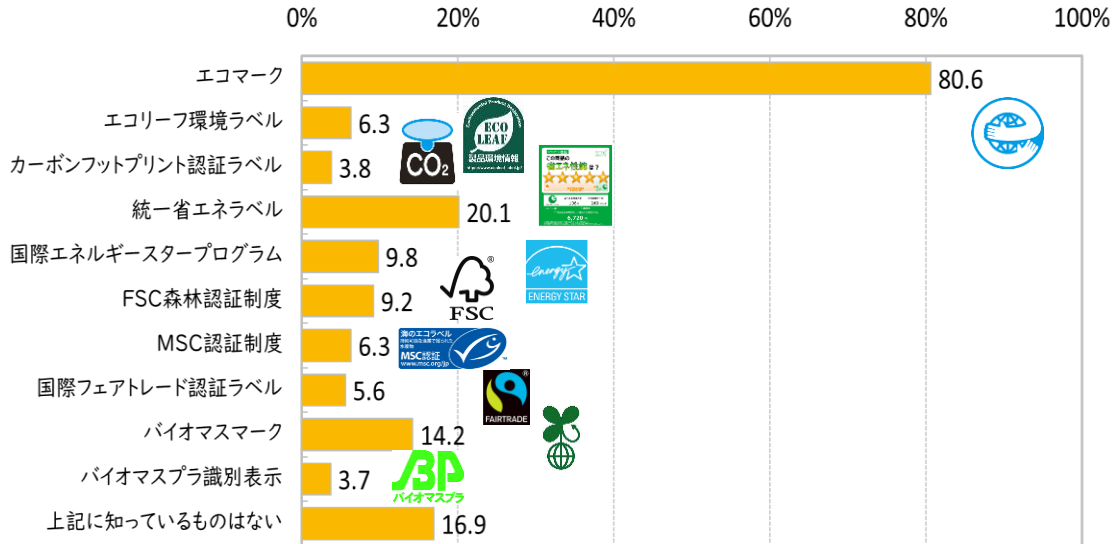


図3

[参考] 年代別エコマークの認知度

本問で「エコマークを知っている」と回答した年代別の構成を見ると、20代・30代が特に高い割合であった(図4)。

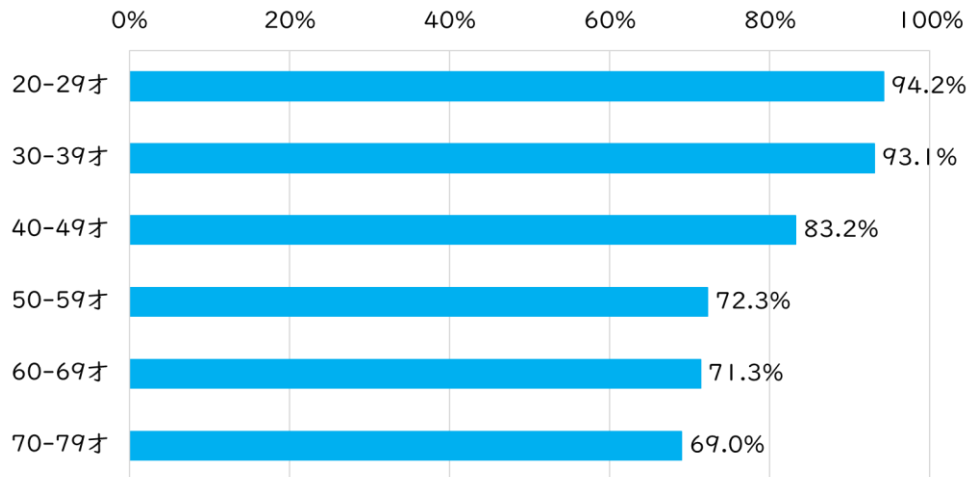


図4

(n=833)



3 エコマークに関する設問

①エコマーク商品へのイメージ

エコマークが付いている商品へのイメージ調査では、72.5%の人が「エコ商品としてわかりやすい」と回答している(図5)。エコマークロゴを表示することによって、多くの消費者にエコ商品のイメージが伝えられている。

Q エコマークの付いている商品にどんなイメージをもちますか。あてはまるものを全て選んでください。※複数回答

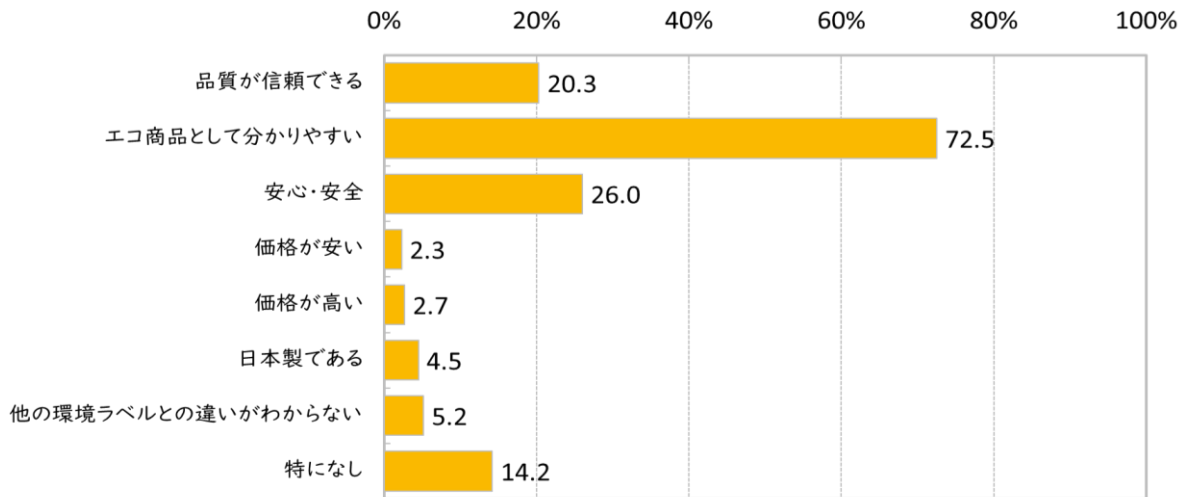


図5

②エコマークを取得している企業イメージ

エコマークを取得している企業イメージの調査では、「環境問題に積極的に取り組んでいる」が59.5%であった(図6)。次いで、「企業イメージが良い」が40.9%であることから、ロゴ表示によって、対象商品だけでなくエコマークを取得している企業へのイメージも高めることができると言える。

Q エコマークを取得している企業のイメージについて、あてはまるものを全て選んでください。※複数回答

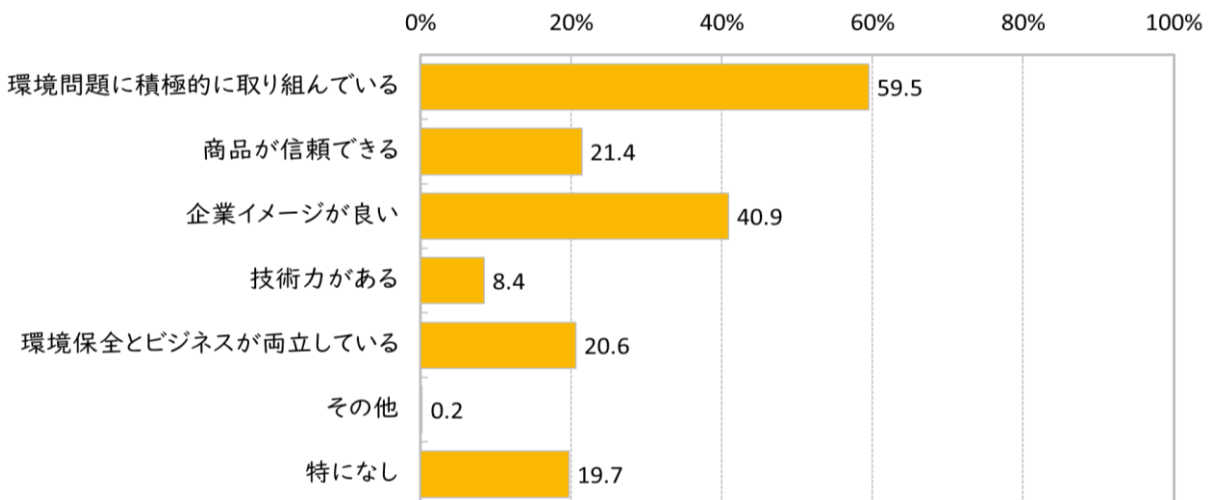


図6



③エコマークの理解度

「エコマークが環境のことを考えた製品やサービスにつけられるマークであることを知っている」と回答した割合は、80.4%と高かった(図7)。他方、「エコマークがライフサイクル全体の環境負荷までを考えられた商品につけられるマークであることを知っている」と回答した割合は、45.1%と半数以下であった(図8)。今後は、エコマークの認知度とあわせて、ライフサイクル全体のことを考えて評価されたマークであることを消費者に対して情報提供していくことが必要であると考えられる。

Q エコマークは環境のことを考えた製品やサービスにつけられるマークであることを知っていましたか。

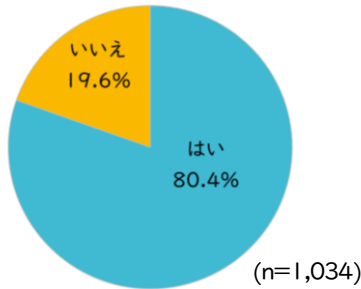


図7

Q エコマークは再生品だけでなく、資源採取からリサイクル・廃棄までの商品の一生を考えた基準に適合した商品につけられるマークであることを知っていましたか。

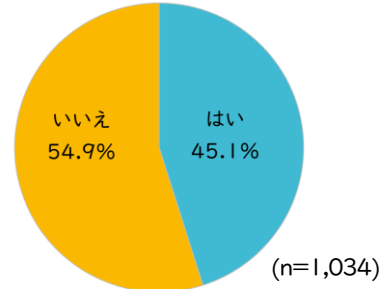


図8

4 エコマーク表示に関する設問

①エコマーク表示の信頼度・イメージ度

回答者には、エコマークの認定機関、審査基準、エコマーク表示までの手続き等を事前に説明したうえで、マーク表示への信頼度等について質問した。その結果、回答者の86.0%が、商品にエコマークが表示されていることで、信頼のおける機関から認定された商品だと感じるようになった(図9)。また、エコマークが表示されている商品と表示されていない商品のイメージの違いを質問したところ、89.1%の消費者が、エコマークが表示されている商品の方が環境に配慮した商品としてのイメージが高くなるという結果が得られた(図10)。

Q エコマークがついていると、信頼できる機関から認定された商品であると感じる。

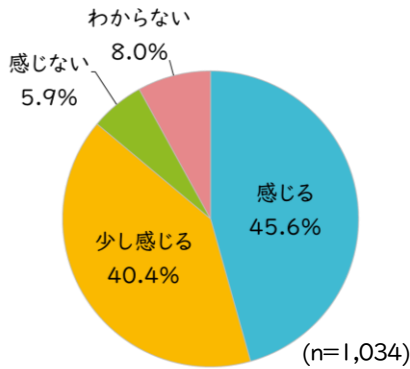


図9

Q エコマークがついている商品とついていない商品では、マークがついている方が環境に配慮した商品としてのイメージが上がると思う。

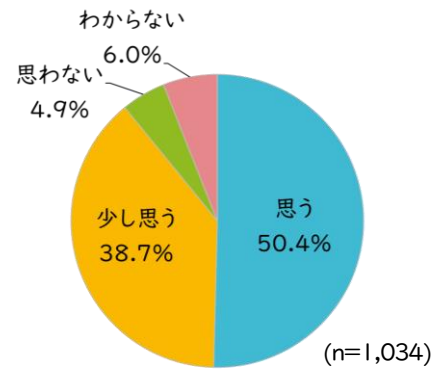


図10



②エコマークロゴに付随する文言について

商品にロゴを表示する場合、厳しい基準のもと、第三者による公正な審査を受けて表示されているマークとして適切な表示方法について探るため、エコマークのロゴに付随する4つの文言(A:認定番号のみを表示 B:エコマーク認定商品+認定番号を表示 C:(公財)日本環境協会認定を表示 D:英語表記+認定番号を表示)を例にあげて質問をした。

その結果、厳しい基準のもと、第三者による公正な審査を受けて表示されているマークであることを最もよく表しているロゴとしては、Bの「エコマーク認定商品+認定番号」の表示の割合が高かった(図11)。

Q AからDのロゴで第三者による公正な審査として最もそれをよく表していると思うロゴを1つ選んでください。

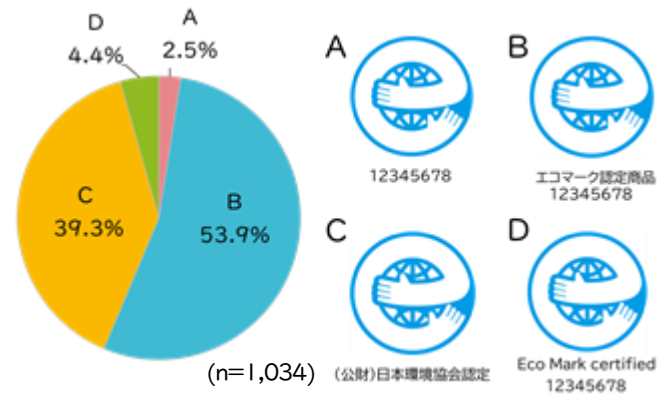


図11

③エコマークロゴ表示位置について

エコマークの効果的な表示に役立つため、消費者が製品の購入時に製品のどの部分にロゴを表示しているとエコマーク商品として認識しやすいか(図12)、また、製品本体にエコマークが表示されていると消費者はどのように感じるかを質問した(図13)。その結果、製品本体や目につく箇所に表示することでエコマーク商品であることが認識しやすく、購入後も環境(エコマーク製品であること)を意識する機会ができるとの回答が半数以上から得られた。

Q あなたがエコマークのついた電気製品を購入する際、エコマークはどこに表示されているとよいですか。3つまで選択してください。 ※複数回答

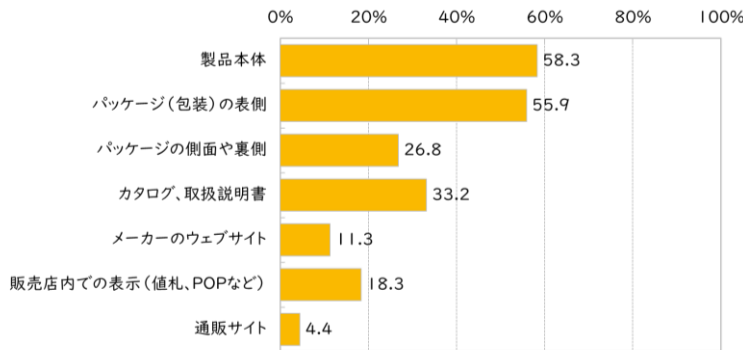
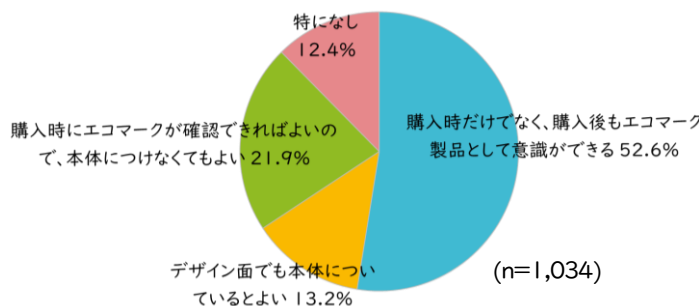


図12

Q 製品本体にエコマークを表示することについてどう思いますか。あなたの気持ちに最も近いものを1つ選んでください。





エコマークへの意見・要望

①エコマーク商品およびサービスの表示に関する要望

「商品・サービスの種類を増やしてほしい」、「普通に買い物をしているとあまり目につかないため、商品以外にもポップをつけるとよい」「環境推奨コーナーなどを作って頂いて、目立つようになれば、もっと世の中に広まると思う」などの意見を頂いた。

②エコマーク制度、事務局への意見・要望

「エコマーク商品がどのように環境によいのかわかるように表示してほしい」、「厳しい基準をクリアしているイメージがないので誰でもつけられるイメージがある。もっと広く周知するとよい」、「エコマークの表示の意味がわかれば、賛同してエコマークの付いた商品を積極的に購入しようとする人が増えると思う。」などの意見を頂いた。

今後の展開について

エコマーク表示の推進および理解促進のために、今後、効果的なエコマーク表示方法について検討を重ねるほか、エコマーク表示の商品/サービスが、どのような基準で審査されているのか、またエコマーク商品を選択して商品を購入することで環境保全にどのような効果があるのかをわかりやすく伝えられる手法を検討し、さらなるエコマークの普及・啓発に取り組んでいくこととしたい。

<本件に関するお問い合わせ>

公益財団法人日本環境協会 エコマーク事務局 事業推進課

TEL: 03-5829-6286 <https://www.ecomark.jp/> E-mail: info@ecomark.jp